

スポーツ・アンド・ヒューマン・ダイナミクス 2013 参加報告

技術第二班 鈴木 大介

1. はじめに

このシンポジウムは、スポーツ・レジャーを中心とした人間の余暇活動および日常活動を安全・快適で豊かにすることを目的として、スポーツやレジャーの用具・設備・施設などのハードウェアとそれを利用する人間のダイナミクスに関連したスポーツ工学とヒューマン・ダイナミクスの研究報告をする場である。

2. 日程

期日：平成 25 年 11 月 1 日(金)~3 日(日)

会場：工学院大学 新宿キャンパス

アーバンテックホール/A-2061 室

A-0652 室/A-0611 室/A-0615 室

3. 発表会内容

<1 日目>

- 「走動作の分析」
- 「スポーツの心身障害ほか」
- 「負荷のモデル化と緩和」
- 「筋骨格モデルの応用」
- 「マテリアルのモデリング」
- 「計測技術」

特別講演：下町ボブスレー開発物語

講演者：下町ボブスレーネットワークプロジェクト推進委員会

<2 日目>

- 「サッカーキックほか」
- 「身体の反応と力学」
- 「カーリング・和弓」
- 「打撃動作分析」
- 「生体情報の計測と評価」

「技術と熟速度」

「移動体の空力特性」

「センシング技術ほか」

「生体衝撃負荷」

機器展示企業によるプレゼンテーション

基調講演：ワコールにおける

人間科学的ものがたり

講演者：山田隆登（ワコール）

<3 日目>

「投動作」

「飛翔特性の計測と推定」

「動作の計測と最適化」

「インパクト・発射」

「テニス・あん馬」

「シューズ・サーフェスほか」

「飛翔ボールの空力特性」

「スイング動作の力学」

「生体負荷の変化と軽減」

「飛翔体の空力特性」

「スキー」

4. おわりに

今回初めて、バイオメカニクスのシンポジウムに参加した。今までとは違う、発表内容を聞いて自分自身の考え方がまだまだ足りないということを実感した。評価内容であったり、状況・条件だったりもっと深く考えておかないといけないものがたくさんあった。これから自分自身が検討している研究を行なっていくに対して、大変勉強になったシンポジウムだった。科研費申請などで生かしていきたい。